

1. トピックス 「インフルエンザと治療薬について」

(1) インフルエンザとは

① インフルエンザの症状

インフルエンザは「インフルエンザウイルス」に感染して起きます。突然の 38℃以上の発熱、頭痛、関節・筋肉痛、食欲不振など全身の症状が急に現れ、高齢の方や種々の慢性疾患を持つ方（ハイリスク群）は肺炎を伴うなど重症化することがあります。

厚生労働省ホームページ インフルエンザ Q&A 2015

【 ハイリスク群について 】

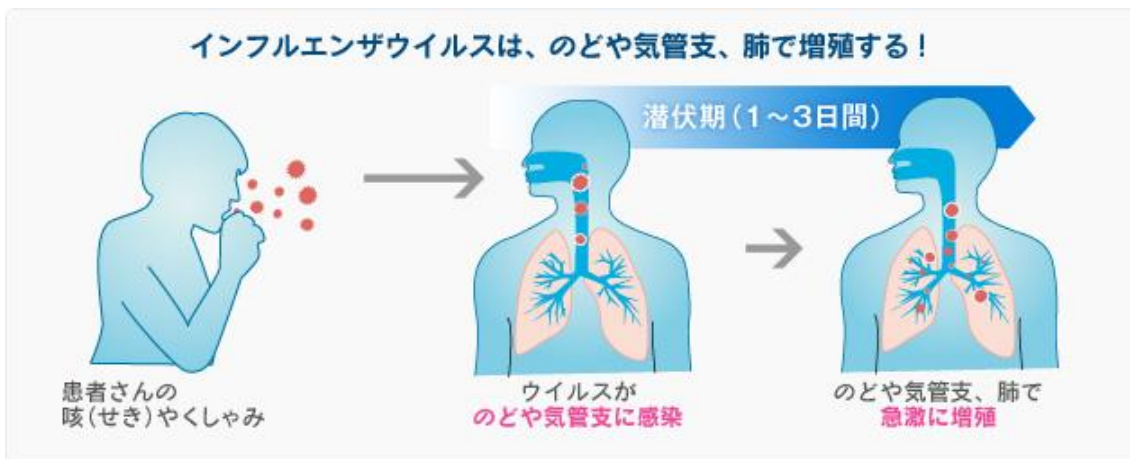
- ◆慢性呼吸器疾患
- ◆慢性心疾患
- ◆糖尿病などの代謝性疾患
- ◆腎機能障害
- ◆ステロイド内服などによる免疫機能不全

※乳幼児や高齢者についても、重症化することがあると報告されています。

② インフルエンザに感染してからの経過

インフルエンザは主に、インフルエンザに感染した人の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるインフルエンザウイルスを吸い込むことによって感染します（飛沫感染）。

インフルエンザウイルスは、呼吸とともに鼻やのどから体内に入り込み、気道の粘膜に吸着して細胞内に侵入します。感染したウイルスは、約 1～3 日間の潜伏期間を経てのどや気管支、さらには肺で急激に増殖していきます。感染 2～3 日後にはウイルスの増殖はピークに達し、続く約 1～3 日で症状を伴いながら、その後減少します（多くは 10 日前後には症状が落ち着き、治癒します）。



(2) 予防について

流行前のワクチン接種が有効です。ワクチン接種を受けた高齢者は、死亡の危険が 1/5 に、入院の危険が約 1/2～3 にまで減少することが期待できるとされています。また、現行ワクチンの安全性はきわめて高いと評価されています。摂取回数は、13 歳未満は原則として、2～4 週間の間隔をおいて 2 回接種します。13 歳～64 歳は 1 回又は 2 回かを医師と相談して決定します。65 歳以上の高齢者では、1 回の予防接種でも十分な免疫力が得られるといわれています。効果が現われるのはおよそ 2 週間後からで、その後約 5 カ月間持続するといわれています。もちろん**手洗い**や**アルコール製剤による手指衛生**、**マスクの着用**も非常に有効な予防策です。

厚生労働省ホームページ インフルエンザ Q&A 2015

かからない！うつさせない！がポイントです！

(3) 治療と注意点について

① インフルエンザ治療薬（ノイラミニダーゼ阻害薬）

一般名	ザナミビル	オセルタミビル	ペラミビル	ラニナミビル
商品名	リレンザ	タミフル	ラピアクタ	イナビル
有効ウイルス	A 型及び B 型			
作用機序	ノイラミニダーゼ阻害			
剤形	吸入薬	錠剤、ドライシロップ	静注	吸入薬
用法 (治療用)※	1 回 2 吸入 1 日 2 回 5 日間	1 日 2 回 5 日間 (1 回量 75mg)	300mg を 15 分以上 かけて単回点滴静注	1 回 2 吸入 単回吸入

抗インフルエンザウイルス薬の服用を適切な時期(**発症から 48 時間以内**)に開始すると、発熱期間は通常 1～2 日間短縮され、鼻やのどからのウイルス排出量も減少します。なお、症状が出てから 2 日(48 時間)以降に服用を開始した場合、十分な効果は期待できません。**効果的な使用のためには用法、用量、服用期間(服用する日数)を守ることが重要**です。

③ 未成年へのインフルエンザ治療薬の投与による異常行動

2007年頃に世間でタミフル服用による未成年の異常行動が話題となりました。インフルエンザ感染時には、医薬品を何も服用していない場合や解熱剤だけを服用した後でも同様の異常行動が現れることが報告されています。また、リレンザ、ラピアクタ、イナビル服用後にも、急に走り出す等の異常行動の発生が認められています。インフルエンザに罹患して、突然走り出して建物上階から転落する等の事故を防止するために、**医薬品の服用の有無にかかわらず、少なくとも発症から2日間、小児・未成年者が一人にならないよう配慮する必要があります。**異常行動としては、以下のような事例が報告されています。

- ・突然立ち上がって部屋から出ようとする。
- ・興奮状態となり、手を広げて部屋を駆け回り、意味のわからないことを言う。
- ・興奮して窓を開けてベランダに出ようとする。
- ・自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない。
- ・人に襲われる感覚を覚え、外に飛び出す。
- ・変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回る。
- ・突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする。

2014/2015シーズンの異常行動の発生状況は以下の通りです。

一般名	ザナミビル	オセルタミビル	ラニナミビル	医薬品服用なし
商品名	リレンザ	タミフル	イナビル	
報告件数	2件	8件	10件	11件

※他の薬も併用している患者様も含まれます

参考資料：

- ・厚生労働省ホームページ インフルエンザ Q&A 2015
- ・第一三共株式会社ホームページ Inlu News 2015
- ・今日の治療薬 2015 解説と便覧